

第 22 回「環境放射能」研究会 プログラム

(開催方法 : リモート)

2021 年 3 月 10 日(水)

開会 (13:00 - 13:10)

開会挨拶 (日本放射化学会・篠原厚会長)

概要・注意事項説明 (事務局)

発表時間 (質疑含む) 依頼講演 (依頼 - 1~3) : 50 分

口頭発表 A (A - 1~18) : 25 / 20 / 15 分、口頭発表 B (B - 1~27) : 10 分

セッション1 (13:10 - 14:40) 座長:安田健一郎

- A-1 東京電力福島第一原子力発電所事故で環境に放出された放射性セシウムの
長期挙動とその陸上及び海洋でのマスバランス
筑波大・福島大 青山 道夫
- A-2 東部太平洋における ^{241}Am の分布と沈降挙動
清水建設(株) 木下 哲一
- A-3 極微量人工放射性核種 ^{233}U と ^{236}U の海洋循環デュアルトレーサー利用に向けた
海水中 U 濃縮法の検討
筑波大院生命環境 阿部 美波
- A-4 赤城大沼湖底質における放射性セシウムの動態解明
東京都市大 熊谷 尚人

依頼講演-1 (14:55 - 15:45) 座長:別所光太郎

- 依頼-1 ガドリニウムを加えた新生スーパーカミオカンデ
東京大学宇宙線研究所 中島 康博

セッション2 (15:55 - 16:55) 座長: 吉田剛

- B-1 四重極型 ICP-MS を用いた天然水中の ^{226}Ra 迅速分析法の検討
原子力機構 富田 純平
- B-2 J-PARC 加速器の運転モードの違いによるコンクリート中の核種生成量の比較
J-PARC・高エネ研・量研機構 西川 功一
- B-3 高周波炉システムを用いた溶融した放射化金属試料からのエアロゾル捕集
京大複合研 沖 雄一
- B-4 A simple and rapid method for analysis of Pu isotopes in steel and concrete samples
by SF-ICP-MS with a single column chromatography separation
QST Shuai Zhang
- B-5 福島原発事故後の放射線生物影響調査のための野生アライグマの被ばく線量評価
東北大院理 小野 拓実
- B-6 ICP-MS による硬組織中 ^{90}Sr のための測定手法開発とウシ骨試料への適用
原子力機構 小荒井 一真

セッション3 (17:05 - 18:15) 座長: 沖雄一

- A-5 野生動物の歯を用いた低線量被ばく評価法の開発
東北大院理 光安 優典
- A-6 プラスチックシンチレータボトルを用いた α 線放出核種 ^{210}Po の測定
(株)日立製作所 加藤 結花
- A-7 高水素化物生成比を示す高濃縮ウラン粒子に対する SIMS-APM の最適化
原子力機構 富田 涼平

2021年3月11日(木)

セッション4 (9:00 - 10:15) 座長:長尾誠也

- A-8 福島第一原子力発電所事故に由来する不溶性放射性微粒子の模擬生成実験
京大複合研 稲垣 誠
- A-9 放射性セシウム含有微粒子(CsMP)を模した珪酸塩ガラスの合成とその性質
東大院理 奥村 大河
- A-10 環境試料中の放射性セシウム含有微粒子(CsMP)定量法の提案
東大院理 小暮 敏博

セッション5 (10:30 - 12:00) 座長:田上恵子

- B-7 福島第一原子力発電所事故放出 ^{131}I , ^{132}I 及び ^{132}Te の大気中挙動モデルを用いた
実測値に基づく性状別動態の解析
名大院工 西山 暉
- B-8 福島県内の空間線量率の統計に関する研究
筑波大院システム情報工 飯田 慎太郎
- B-9 大気拡散モデルアンサンブルの原発近傍プルーム飛来予測性能の評価
名大工 桐山 勇作
- B-10 X線吸収微細構造解析を用いた雨水に添加した安定ルテニウムの短期間における
化学形態変化調査
(公財)環境科学技術研 海野 佑介
- B-11 前田川における2019年台風19号以降の放射性セシウム動態の変化について
福島県環境創造センター 竹内 幸生
- B-12 湖水中 ^{137}Cs 濃度の長期減衰と非整数階拡散方程式
筑波大院システム情報工 仙波 大征
- B-13 多摩川支流野川における底質中放射性セシウム濃度と底質性状との関係
明治大理工 猪瀬 聡史
- B-14 帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナを対象にした NaI(Tl)
シンチレーション検出器を用いた Cs-137 濃度の活魚測定方法の開発
茨城大地球・地域環境共創機構 近藤 陸人
- B-15 福島県南相馬市の太田川河川生態系における無脊椎動物類への放射性セシウム
の移行
国立環境研 趙 在翼

セッション6 (13:00 - 14:15) 座長: 木下哲一

- A-11 大気中濃度と沈着量に基づく空間線量率推計値を用いた事故後初期の ATDM の再現性検証
東大院工 森口 祐一
- A-12 東電福島第一原子力発電所事故後初期(2011年3月12-31日)の放射性セシウムのプルームの全体像
リモート・センシング技術センター 鶴田 治雄
- A-13 福島原発事故データを用いた大気拡散モデルの性能評価と緊急時利用方の検討
名大 山澤 弘実

東日本大震災発生から10年を迎えるに当たり、黙とう (14:15頃)

依頼講演-2 (14:30 - 15:20) 座長: 松村宏

- 依頼-2 加速器質量分析による環境中の長半減期放射性核種の測定
日本大学文理学部 永井 尚生

セッション7 (15:30 - 16:35) 座長: 杉原真司

- A-14 マイクロビーム PIXE による福島第一原子力発電所事故で放出した放射性粒子の元素分布測定
筑波大理工 中村 司
- A-15 東京大学 MALT の加速器質量分析
東大 山形 武靖
- A-16 加速器質量分析による ^{90}Sr の測定実現に向けた研究
Univ. of Vienna・筑波大・原子力機構 本多 真紀

セッション8 (16:50 - 18:00) 座長:坂口綾

- B-16 土壌中の低カリ条件下でのカリ資材による玄米への放射性セシウムの移行抑制効果の持続性評価
福島県農業総合センター 松岡 宏明
- B-17 水田土壌における ^{237}Np 及び ^{239}Pu の土壌-土壌溶液間分配係数について
量研機構 鄭 建
- B-18 ポットに植栽したコナラ苗木の ^{137}Cs 濃度と土壌の交換性 K 濃度の関係
福島県林業研究センター 飯島 健史
- B-19 福島第一原発事故後に得られた動的環境移行パラメータ収集について
～IAEA 研究プログラム MODARIA II における成果集約～
量研機構 田上 恵子
- B-20 脱ガス法を用いた水中ラドン濃度測定について
神戸薬大 安岡 由美
- B-21 ピコラド検出器によるラドン測定における相対湿度の影響について
神戸薬大 合田 奈央
- B-22 薬学生による天然核種を用いた新規放射線教育の提案
兵庫医療大薬 藤野 秀樹

2021年3月12日(金)

セッション9 (9:00 - 10:40) 座長:高宮幸一

- B-23 福島県飯舘村における環境放射線研修会
阪大 高橋 賢臣
- B-24 福島県飯舘村における土壌中 ^{137}Cs の定量
阪大人間科学 大原 理彩子
- B-25 福島第一原子力発電所事故影響を踏まえた、福島県における松葉モニタリングの見直しの検討
福島県環境創造センター 入澤 歩
- B-26 福島第一原発事故による茨城県の放射能長期汚染とその特徴 (2)
当面得られたいくつかの知見
いばらき環境放射線モニタリングプロジェクト 天野 光
- B-27 尿中放射性 Cs 濃度測定による南相馬市原町区住民の内部被ばく状況調査
市民放射能監視センター 青木 一政
- A-17 福島県における空間線量と個人線量の相関 II
ふくしま再生の会・京大院工 今井 誠
- A-18 コケバッグを用いた簡便な大気中放射性物質濃度・挙動評価の試み
原子力機構 土肥 輝美

依頼講演-3 (10:55 - 11:45) 座長:田上恵子

- 依頼-3 研究生生活を振り返って ~転機~
量研機構放射線医学総合研究所 内田 滋夫

閉会 (11:55 - 12:15)

研究会奨励賞表彰式

閉会挨拶 (高エネ研放射線科学センター長・波戸芳仁センター長)